

片倉病院理事長の休日 ～蔵王ヒルクライム出場～



片倉康喜理事長



毎日見かける自転車の練習に励む姿がかっこいいです♡  
By 広報部

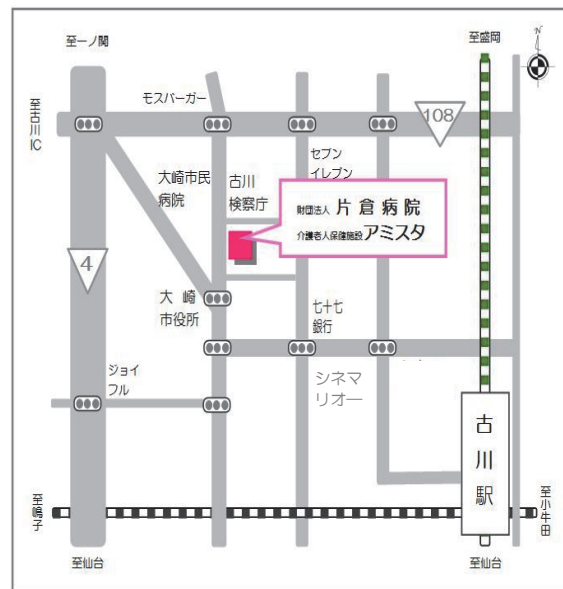
5月18日、蔵王ヒルクライムに出場してきました。遠刈田の大鳥居からお釜まで、距離18.7km、標高差1334mです。今年は太平洋上の低気圧の影響で、山頂では気温0℃、風速15～17m、視界2～3mと大変厳しい環境でのレースとなりました。午前4時に古川を出発、6時前には集合場所に到着し、軽く試走した後に開会式が始まりました。開会式ではお歴々の方々が挨拶されましたが、寒い風がとても辛かったです(苦笑)その後クラス別に順次スタートを切りました。序盤は新緑の森の中を快調なペースで登れましたが、木々の無くなる賽の河原から上では猛烈な向かい風で思うように進めません。なんとか前を走る人の背中を渡り歩かのように前に進みました。さらに気温も急降下して指先の感覚も弱くなりました。駒草平を過ぎ高い雪の壁を縫うように登り、終盤はほとんど前方の視界のない状態でゴールしました。タイムは1時間18分38秒、昨年より5分程遅れました。成績は男子40代完走348人中26位、これは昨年と全く同じでした。

	月	火	水	木	金	土
脳神経外科	○	○	○	○	○	○
内科	○	○	○	○	○	○
整形外科	月に1回土曜日の診療となります。窓口までお問い合わせください。					

診療受付時間 (月)～(金) 8:30～11:30  
13:30～16:30  
(土) 8:30～12:00

※日曜・祝祭日は休診となります。

※消化器内科が再開いたしました。詳しくは窓口までお問い合わせください。



編集後記

初めまして！入職8ヶ月の社会福祉士、佐々木です。今号より広報部の一員となりました。広報誌も心機一転、リニューアルいたしました。これからも当院の情報を発信することで、地域の皆様のお役にたてるよう頑張っていきます！！  
どうぞよろしくお願いいたします。(佐々木)



〒989-6173 宮城県大崎市古川浦町1番37号  
(片倉病院) TEL:0229-22-0016 FAX:0229-24-1226  
(アミスタ) TEL:0229-22-0015 FAX:0229-24-1262  
メール: info@katakura-hospital.com



かけはし

地域の皆様との

となる病院を目指します



えんげがいらい

5月17日 古川三日町の藤棚 片倉病院より徒歩5分

『嚥下外来』が始まりました！  
食事の形態や介助の方法、お困りではありませんか？

元気 生きていくためには、ご飯をおいしく食べることが大切です。

しかし、脳血管障害の影響や筋力の低下、認知症などにより、食べ物を食べたり飲んだりすることが難しくなることがあります。これを【摂食嚥下障害(せつしょくえんげしょうがい)】といいます。

「最近、食事でむせこんでしまう…」 「食べられなくて時間がかかる…」 「肺炎を繰り返している…」

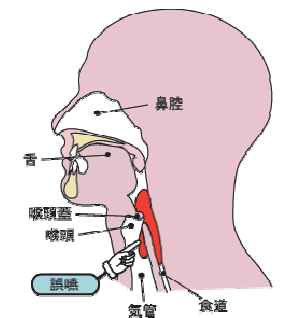
そのような、お食事に関する悩みを抱えている方の声も多く聞かれます。

片倉病院では地域の方のニーズに合わせて、【嚥下外来】を始めました。レントゲン(VF検査)を用いて、実際に食べている様子を撮影し、口の動き、のどの動き、飲み込みのタイミングなどを確認します。そのうえで、食べやすい食事の形態や、食べ方の工夫などについてお知らせします。片倉病院には昨年から言語聴覚士が配属され、摂食嚥下障害について専門的な評価、指導、助言、リハビリが行えるようになりました。

お困りの方は是非お気軽にお問い合わせください。



飲みこみの評価を行っているところです



レントゲンの投影検査を用いて飲み込みの様子を評価します

## 言語聴覚士 ～コミュニケーション・食事のリハビリテーション～

### 片倉病院リハビリテーション科には言語聴覚士がいるのです！！

現在、片倉病院リハビリテーション科には理学療法士（PT）4名、作業療法士（OT）3名、言語聴覚士（ST）3名、併設の老人保健施設アミスタには理学療法士4名、作業療法士1名が勤務しております。

「リハビリ」といえば歩く練習をしたり、手を動かしたり…というイメージがあるかと思いますが。「言語聴覚士って何だろう?」、「どんな仕事をしているの?」など言語聴覚士やその仕事の内容についてご存知ない方もたくさんいるのではと思います。

そこで今回この紙面をお借りして言語聴覚士とその仕事内容を知っていただき、お読み頂いた皆様、ご家族や周囲の方々に言語聴覚士のサポートが必要となったときにお役に立てると幸いです。

言語療法中の一場面



STさんがリハビリを行っている様子ですね

食介助中の一場面



患者様にとって適した姿勢、食形態で食事をとるんですね

### 言語聴覚士ってなんなのでしょう?

言語聴覚士は、ことばや聞こえ、食物を口から食べることに障害を持つ方の機能回復や発達促進の援助をおこなう医療、福祉における専門家です(一般社団法人 日本言語聴覚士協会ホームページより)

病気や怪我によって脳に障害を持ち、コミュニケーションや食べること、飲み込むことに障害をもった方に対してのリハビリを行っています。

### 当院の言語聴覚士は何をしていますか?

当院での言語聴覚療法の対象となる患者様は成人の脳卒中後遺症や認知症によるコミュニケーション困難をお持ちの方、廃用症候群、摂食嚥下障害をお持ちの入院患者様が中心です。おひとりお一人に合わせた評価やリハビリを行っています。

退院後も継続して言語療法が必要な患者様はご自宅に戻られてから外来リハビリに来ていただくことも可能です。他病院からご紹介いただくこともあります。

摂食嚥下障害の患者様に対しては必要に応じて嚥下造影検査（VF）を行い、安全に食べられるかどうかの評価を行います。今年度からは嚥下外来も始まったので食べることでお困りの方にぜひともご活用いただきたいです。

その他に、県内の他の病院等で口腔ケアや摂食嚥下に関する講義や講演も行っております。また、言語聴覚士養成校からの実習生を受け入れており、言語聴覚士を目指す学生の指導にも力を入れております。

コミュニケーションや食事についてお困りの方がいらしたときにはぜひご相談ください。

### <ミキサー食って?>

食事をミキサーによってトロトロにし、柔らかくした食形態のことを言います

### <どんなメリットがあるの?>

普通の食事に比べ柔らかくなっているため、嚥む力、飲み込む力が弱くなっている方でも無理なく食事を行うことができます。

脳血管障害の影響や、筋力の低下、認知症などにより食べ物を嚥む、飲み込むことが難しい方に対して効果的です。

### <ミキサー食の作り方のポイント>

1. ミキサーなどを使用し、ペースト状にします。固形の場合は、だし汁・煮汁・スープなど水分を加えてなめらかに仕上げましょう
2. イモ類やバナナは潰すとトロミがあるので食べやすいです。その他の食品はペースト状にした後、片栗粉を加えてトロミをつけると、のど越しがよくなります

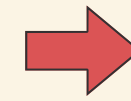
※市販のトロミ剤を使用すると、より簡単にとろみをつけることができます

### 【注意したい食材】

スポンジ状の食品（パン・カステラ）、硬い食材（ごぼう・大豆）、口の中に粘着するもの（わかめ・のり）



常食を



ミキサーにかけ



ミキサー食に!

## 介護老人保健施設アミスタ

アミスタでは「在宅での介護が難しくなってきた…」 「退院後にリハビリの行える施設を利用したい。」等々、利用される方々に介護・リハビリテーションを通じ、家庭への復帰を支援する施設です。

病院が併設しており、万が一状態が悪化した場合でも、医療が行える体制を整えてあり、利用者様に安心して施設での生活をお送りいただけるよう介護・医療を通じた、総合的な充実を図る施設を目指しております。長期入所、短期入所（ショートステイ）、通所（デイケア）とございますので、施設利用を検討されている際には、一度ご相談下さい。

アミスタでは・・・ 四季折々に様々な行事を行い楽しいひとときを過ごして頂きます。



●ひな祭り ●お花見 ●七夕祭り ●花火大会 ●敬老会 ●バスハイク ●クリスマス会 ●新年会 ●節分

## アミスタ入所・デイケア募集中!

サービス内容詳細や利用料金等に関するお問い合わせ・施設見学等、随時行っておりますのでお気軽にお問い合わせください。又、来所される場合は事前にご連絡いただければ幸いです。

デイケア送迎地域：大崎市（古川・三本木・松山・岩出山）・美里町（小牛田）  
相談窓口：高木、小田中、高橋 お問い合わせ先:0229-22-0015